



パターン判定一畠

評価

試料名：畠① (SOFIX農業推進機構様)

表1. 土壤肥沃度判定

測定項目	単位	実測値	低	適	高
◆総細菌数	(億個/g)	14.2		≥2.0	
◆全炭素 (TC)	(mg/kg)	20,300		≥12,000	
◆全窒素 (TN (N))	(mg/kg)	1,246		≥1,000	
◆窒素循環活性評価値	(点)	42		≥25	
◆リン循環活性評価値	(点)	44		25~80	
◆C/N比	-	16		8~27	

<パターン1>

評価 <特A>

良好な有機土壌環境

原因

適切な有機物施肥・管理が行われている。

土壤の改善を行う場合、上記の各項目が「最適」になるよう、適切な資材選定と施肥・管理を行うことが重要です。具体的な施肥設計をご要望の場合は、当機構までお問い合わせください（有償となります）。

表2. 植物成長に影響する項目

測定項目	単位	実測値	低	適	高
◆全窒素 (TN (N))	(mg/kg)	1,246		≥1,000	
◆全リン (TP (P))	(mg/kg)	1,293		1000~8000	
◆全カリウム (TK (K))	(mg/kg)	4,120		1500~12000	

解説 (判定基準)

SOFIX（土壤肥沃度指標）に基づく判定基準(畠)を以下にお示しします。

(2017年10月より新基準を採用)

表3. 土壤肥沃度判定基準

関連する項目	単位	低い	判定基準値(畠)	高い
◆総細菌数	(億個/g)	<2.0	≥2.0	
◆全炭素 (TC)	(mg/kg)	<12,000	≥12,000	
◆全窒素 (TN (N))	(mg/kg)	<1,000	≥1,000	
◆窒素循環活性評価値	(点)	<25	≥25	
◆リン循環活性評価値	(点)	<25	25 ~ 80	>80
◆C/N比	-	<8	8 ~ 27	>27

※総細菌数・全炭素・全窒素・窒素循環活性評価値は基準値以上が望ましい。

※リン循環およびC/Nは、基準値以上の場合でも改善が必要である。

日本の畠の土壤は、この基準に照らして、大まかに8つのパターンに分類されます。パターン判定では、ご依頼いただいた土壤のSOFIX分析データに基づいて、どのパターンに該当するかをお示ししています。

パターン1 評価 <特A> 良好な有機土壌環境

パターン2 評価 < A > 有機物がやや蓄積傾向でバランスが悪い。

パターン3 評価 < A > リン循環が適正ではない

パターン4 評価 < B > 炭素量 (TC)・窒素量(TN)は十分だが、物質循環活性が不適正

パターン5 評価 < B > 炭素量 (TC) は十分だが、窒素量(TN)が不足傾向。

パターン6 評価 < C > 微生物は十分だが、有機物が不足傾向。

パターン7 評価 < C > 細菌数が少なく循環系が悪い傾向

パターン8 評価 < C > 有機物は十分だが、細菌数が少ない傾向

表4. 植物成長に影響する項目の判定基準

関連する項目	単位	低い	判定基準値(畠)	高い
◆全窒素 (TN (N))	(mg/kg)	<1,000	≥1,000	
◆全リン (TP (P))	(mg/kg)	<1,000	1,000 ~ 8,000	>8,000
◆全カリウム (TK (K))	(mg/kg)	<1,500	1,500 ~ 12,000	>12,000

※TPおよびTKは、基準値を超えた（高い）場合でも改善が必要である。